

エリア ウェットアップ

峡東教育事務所
地域教育支援スタッフ
TEL 0553-20-2737
FAX 0553-20-2733

回覧・配布をお願いします。増し刷り配布はご自由にどうぞ。山梨県庁のホームページでも掲載中です。
<http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/kyoiku-hym/index.html>
 ご意見・ご感想はこちらまで Email: saegusa-aszn@pref.yamanashi.lg.jp

「あなたは望まれて世に来た」マザーテレサの言葉より

11月18日、第2回峡東地域子育て講演会が、いちのみや桃の里ふれあい文化館において、カウンセリング、ユース・コミュニケーションの専門家である高野利雄先生を講師に、「教育活動の基礎になるコミュニケーション～人権と人格を尊重しあうこと～」という演題で行われました。当日は160名の参加者がありました。

高野先生は93年にインドへ行き、マザーテレサの指導を受けました。「あなたは望まれて世に来た」は、マザーテレサが死に直面した貧しい人々に語りかけた言葉です。数多くのお話の中から一部を報告させていただきます。

今、日本の子どもたちが置かれた状況には、経験の不足(人間関係・生産活動)、将来への不安、ニート・引きこもり・フリーター・パラサイト(親への経済的寄生)等の自立支援の必要性、インターネット・ゲーム・携帯電話による生活の個別化・受動化等がある。

そのような中で悩み・苦しんでいる子どもたちへの対応として、大人が質の高いコミュニケーション力(リソク)を持ち、子どもたちに関わることが、健全な子どもたちを育てて行く基礎になる。コミュニケーションとは、ただ単に「会話をしている」「話をしている」ことではない。相互理解をすること、子どもがどんな思いでいるのかがわかること、同時に私がどんな思いでいるかを子どもにしっかり伝えることである。その時、相互理解しながら次に進んでいくことができる。大人に正しく聞いてもらうことで、子どもが逆境を乗り越えられることがある。

子どもを理解する時には、私たちが子どもをどうという視点で見ることが重要である。

Doing(ドゥイング)あなたは、何ができるか。できることにおいて価値があるという見方

Being(ビーイング)あなたが生まれてきて、そこにいることだけで十分価値があるという見方

私たち大人は、Doingで子どもたちを見ていくことはやむを得ないことだが、より重要なのはBeingという視点を持って子どもを待つことである。私たちは目に見えるその人の行動=Doingで、その人の評価をし、好き嫌いを決めている。その人の行動でなく、その人がどんな思いでいるかをわかつていくことが大切である。



<講演中の高野先生>

そのためには、「正確に聞く」「明確に伝える」ことができるようになるトレーニングが必要である。

正確に聞く 相手を理解しようとする聞き方：黙って聞く(意外と難しく、黙る練習も必要である)、うなずく、あいづち、うながす(「.. .それから」「もう少し詳しく聞かせてくれる」)

明確に伝える 自分を理解してもらうための自己表現：相手の話を正しく聞いた後、「私は.. .よくないことだと思います」「私は.. .好きです」と、はっきりと伝える。

心の中にあるコップが悩みで一杯の時、何もできず次に進もうとするエネルギーは生まれてこない。コップの悩みを少しこぼしてあげると(取り除くと)、ゆとりができる。知(どのように考えているか)・情(どんな気持ちでいるか)・意(どんなことをしたいのか)を聞いてもらうことが、こぼしてあげることにつながり、ゆとりが生まれる。ゆとりがある時初めて、人の話を聞くことができ、自分で考えることもでき、次へ進んで行く力が生まれて来る。

11月6日(木)塩山ふれあい館で「第3回甲州子どもフェスタ」が行われました。この催しは、世代を超えて交流し、共にまちづくり・子育て環境づくりを目指す「共生のまちづくり事業」として、甲州子どもフェスタ実行委員会の主催で開催されました。親子200組400人以上の参加者があり、運営には子育て真っ最中のたくさんのお母さん方が協力していました。



<活動を紹介する情報コーナー>には、子育てサークル及び子育てサロンの活動が紹介され、仲間作りへの参加を呼びかけていました。

<遊びのコーナー>では、「子育て支援センターこすもす館」による親子体操やバルーン遊び、

「葡萄の実」による人形劇が行われ、笑顔いっぱい親子の姿が見られました。<親子体操>

この他にも、わんぱく宇宙やトンネルなどの大型遊具や歯科検診・健康相談、食育コーナー、手形・足型コーナー、おもちゃと絵本の交換会、井戸端コーナー、ベビーマッサージ、起震車の体験、はらぺこ広場(模擬店)等、乳



<大きなバルーン遊び>

幼児親子がゆっくりできる内容で、楽しく充実した時間を過ごしていました。

甲州市立塩山北中学校「道徳」授業公開

10月29日(水)、甲州市立塩山北中学校の平成20年度「道徳」授業公開に参加しました。この公開は、文部科学省指定「道徳教育実践研究事業」および山梨県教育委員会指定「小中連携ふるさとやまなし道徳教育推進事業」として行われたものです。1年生は体育館で「命の講演会」、2・3年生は各教室で担任による道徳の授業公開が実施されました。保護者・教師・教育関係者が多数参加し、駐車場のグラウンドは車でいっぱいになっていました。



1年生38名と保護者・教師等50~60名が参加した「命の講演会」取材しました。講師の新藤京子さん(元山梨県福祉保健部保健監)から、演題:「君たちが生まれ育ってきた道・そしてこれから」の授業を受けました。

新藤さんは、保健師教育に長年携わり、退職後は県内の小・中・高等学校で命の授業・講演を数多く行い、塩山北中学校では4年連続して講演しています。

生徒の中に入り込み、一人ひとりと対話を重ねながら、命の大切さを伝えていました。また、赤ちゃん人形や胎児モデル模

<一人ひとりに声かけする新藤先生>型を使い、生まれて育ってきた道を生徒に伝えていました。

生徒に伝えていた3つの話が印象に残りました。出産の苦しみに打ち勝って生まれてきた、あなたは、辛いことがあっても乗り越えていくことのできる強いエネルギーを持って生まれてきている。自分の命がこの世で一番大切だと思える人は、同じ思いでいる隣の人に暴力やイジメは行わない。

命の大切さがわかれば、未熟な性へは進まない。講演の途中で、地域に住むお母さん方と赤ちゃん8人の協力を得て、「赤ちゃん抱っこ体験」がありました。生徒は初め



<赤ちゃんの感触に感動する生徒>

はとまどいながらも、優しい笑顔で抱っこ体験を行い、命の大切さを実感していました。最後に、相田みつをさんの「命のバトン」と、塩山市在住のみらいななさん翻訳の「葉っぱのフレディ 命の旅」を朗読し終了しました。2時間以上の講演でしたが、最後まで集中していた生徒達は、新藤さんからお褒めの言葉をいただきました。講演後の生徒の作文（一部抜粋）には、「私と違ってもっと大変な思いをしている子がいると知り、親からもらった命をもっと大切に、友達と仲良くしてこれからも頑張りたいと思います。」「子育ての大変さを改めて知りました。僕もこれから、父や母に感謝して自立した大人になっていきたいと思いました。」と書かれていました。

校長先生は「自分がこの世に誕生したことが如何に奇跡的で、何物にも代え難いものであるかを知って欲しい。今日の授業や体験を通して、自分を産んでくれた両親や、そのまた親に感謝するとともに、自分の命も他人の命も大切にできる生徒に育てて欲しい。」と話されていました。

山梨園芸高校 収穫祭

11月8日（土）第48回山梨園芸高校青雲祭 ～輝け！！青い空の遙か彼方まで～ ふれあい農産物市：収穫祭が、あいにくの小雨模様の中でありましたが盛大に行われました。体育館で行われた開祭式のあいさつでは、食の安全性の問題・食料自給率の低下・地産地消等緊急の課題への対応として、農業教育の大切さが複数の関係者から述べられていました。



<すいれき太鼓部の演奏>

その後、すいれき太鼓部の演奏がありました。9月には日本代表として韓国を訪問し「日韓交流おまつり2008 in Seoul」で公演を行い、太鼓を通して国際交流に貢献しました。生徒・保護者や近隣の方々、ことぶき勸学院の生徒で体育館はいっぱいになり、演奏に大きな拍手を送っていました。

11時の打ち上げ花火を合図に農産物販売と展示発表が開始されました。生徒が1年間丹誠を込めて育て上げた、白菜・キャベツ・大根・ゴボウ・ジャガイモ他各種の野菜やシクラメン・シラン・ニホンサクラソウ他各種の花、また生徒手作りの桃缶詰・ジャム・みそ・漬け物等が安価で販売されました。毎年参加されている方が多く、販売開始前から目当ての店に列をつくっていました。

シクラメンを購入した女性は「毎年、花を買いに来ています。ここのシクラメンは花持ちが良く4月になってもきれいに咲いています。」と話しかけてくれました。模擬店では、豚汁・おでん・カレーライス・じゃがバター・焼きそば・チョコバナナなどが販売され、ここにも長蛇の列ができていました。



実りの秋を実感し、生徒のこれまでの努力に賛辞を贈ると共に、地域に根ざした農業教育の大切さと食の安全性を再確認した、一日となりました。

<シクラメンの販売>と
<模擬店への長蛇の列>

交通事故事例講話 への参加案内

- 1.日時：12月12日（金）午後1時20分～（約50分間）
- 2.会場：山梨園芸高校体育館
- 3.講師：鷲尾 洋子 氏（社団法人被害者支援都民センター 犯罪被害相談員）
犯罪や交通事故の被害者とその遺族に対して精神的支援他各種支援活動、及び社会全体の被害者支援意識の高揚を図り、被害者等の被害の軽減及び回復を目的とする社団法人の相談員。
- 4.演題：「生きる」交通事故の恐ろしさも含め、「生きる」をテーマにお話しただけです。
地域の方々の御参加も呼びかけています。参加希望の方は下記担当までご連絡ください。
山梨園芸高等学校 TEL055-262-4135 FAX055-262-8205 生徒指導係 坂本 篤

～山梨県立産業技術短期大学校で 「小学生ものづくり体験塾」開催～



10月25日（土）甲州市塩山上於曾の山梨県立産業技術短期大学校の「産技祭」が、小学生とその保護者、生徒・学生、近隣の方々が多数参加し盛大に行われました。ポスターコンクール、コスプレコンテスト・クイズ大会等の催しの他、模擬店、農業大学の野菜販売等が行われました。

<開祭式に参加する小学生と保護者>

メインの行事である、小学生対象の「ものづくり体験塾」の様子を紹介します。



<電子オルゴールづくり>

クリスマスソングが流れたり、自分の名前が表示できる、自分だけの電子オルゴールをつくりました。



<ラジコンカーづくり>

ラジコンカーを携帯電話で動かすプログラムづくりに挑戦！先生の仕込んだ秘密のスイッチも・・・



<キーホルダーづくり>

真鍮（しんちゅう）をみがいて、オリジナルのキーホルダーづくり・・・うまくできるかな？



<シールづくり>

「お姉さん教えて」パソコンで観光地を背景にしたシールづくりです。観光クイズも行われました。

産業技術短期大学校の先生や学生のお兄さん・お姉さんたちと一緒に、パソコンや電子部品を使ったちょっと高度な「ものづくり」にチャレンジした一日でした。

『産業技術短期大学校の本年度の外部競技への参加成績』

<p>特別賞受賞 『全日本学生マイクロマウス大会』 日時:11月3日 会場:早稲田大学</p>	<p>3年連続優勝 『ソーラーカーコンテスト』 日時:11月16日 会場:小瀬スポーツ公園</p>	<p>2年連続優勝 『ロボコンやまなし2008』 日時:11月22日 会場:アイメッセ山梨</p>	<p>探索賞受賞 『マイクロマウス2008』 日時:11月22日 会場:つくば国際会議場</p>
-------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------

学生達は頑張っています。

山梨県立産業技術短期大学校は

- 実践的な教育：2年間で2808時間の授業時間の内9割が専門的学科・実習
 - 少人数教育：1クラス20人～30人の学生に対して先生5～6人
 - 最新の設備：企業のニーズにあわせた設備機器を整備
- 開校以来就職率は100%で、卒業生は県内企業を中心に活躍しています。
- 12/7（日）10：00から学校説明会を開催します。どなたでも参加できます。
- 12/15（月）から一般入学検定（前期）の受付を開始します。
- 募集学科 生産技術科 電子技術科 観光ビジネス科 情報技術科
お問い合わせ 教務学生課 電話 0553(32)5201